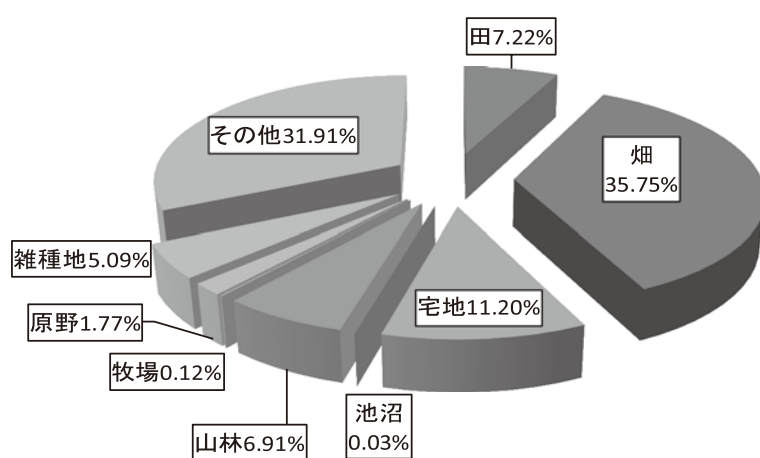
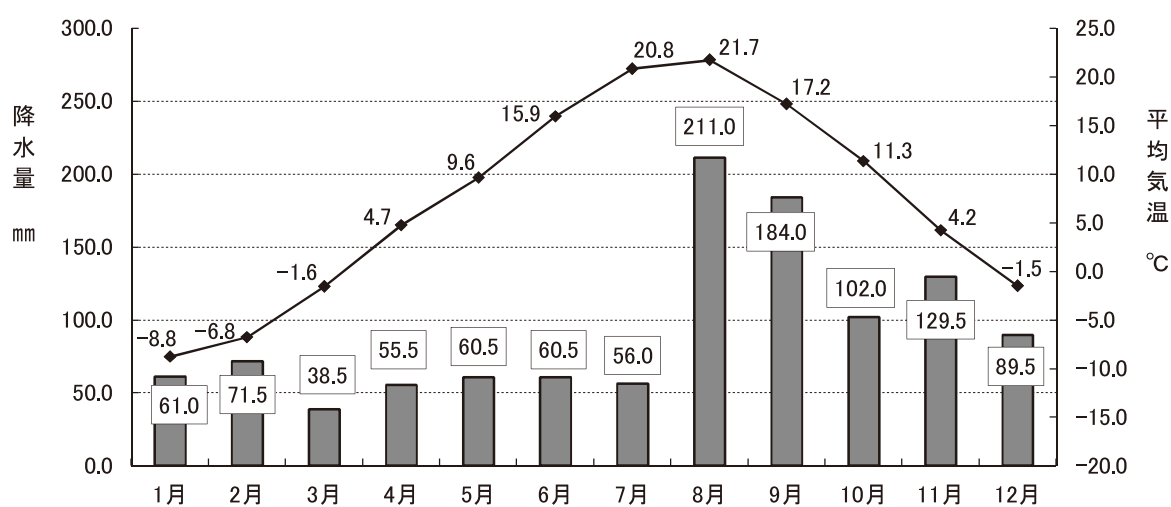


第1章 土地・気象

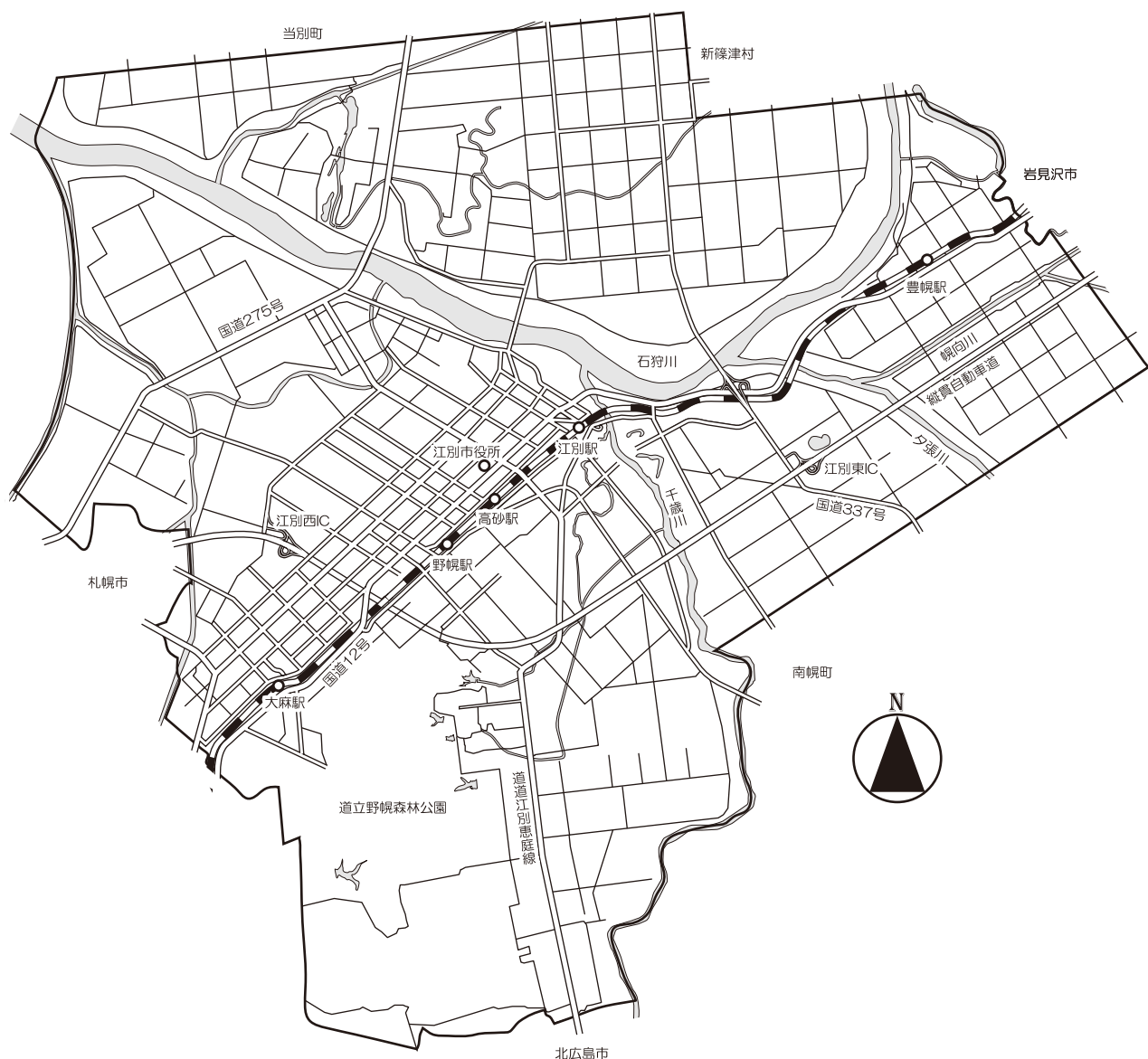
地目別土地面積(平成26年1月1日現在)
総面積 187.57km²



平均気温と降水量(平成25年)



1 市域



2 位置・経緯度

区 分	最東端(東経)	最西端(東経)	最南端(北緯)	最北端(北緯)
最 端 点	豊幌南6線0号交点	角山豊平川中心	西 野 幌	美 原
経 緯 度	141° 40′ 20″	141° 26′ 52″	43° 00′ 52″	43° 10′ 13″

3 面積・広がり

総 面 積	東 西	南 北
187.57km ²	17.273km	18.110km

注) 国土地理院の計測成果により、平成9年9月1日付にて江別市行政面積を修正。

4 地勢・地質

江別市は石狩平野の中央部に位置しており、全般的に平坦な地勢を形成しています。野幌丘陵と古砂丘の起伏があるほかは、市域の大部分に低地がひろがります。標高の最高は野幌丘陵南端部(西野幌)93.0mで、最低は北東部低地帯(豊幌)2.5mです。

主流石狩川が市内を北東から西に貫流し、途中、夕張川、千歳川、豊平川、篠津川等の支流河川が合流します。

野幌丘陵は江別市と札幌市、北広島市、恵庭市にまたがる丘陵で、本市では南西部(野幌森林公園と市街化区域)が丘陵地帯にあたります。また古砂丘は江別砂層と呼ばれる約3万年前に噴出した支笏火山の火山灰が二次堆積してできたもので、江別駅に近い神社山と飛鳥山はその名残です。

低地帯は標高10m以下で、東側(千歳川流域)と北側(篠津川流域)では標高7～8m、西側(旧豊平川流域)では5～6mとなっています。主要河川の流域には自然堤防が発達し、その後背地に泥炭地が広がっています。泥炭地は土地改良が行われ稲作、畑作、酪農地帯となっています。野幌丘陵は長い年月をかけた堆積と沈降運動によって形成され、最も古い地層は、第三紀鮮新世(約200万年前)の裏の沢層で、その上に第四紀(180万年前以降の時代)の地層、すなわち氷河時代の地層が堆積しています。

江別市に分布する地層の層序は裏の沢層、下野幌層(約120万～80万年前)、もみじ台層(13万年前)、小野幌層(約12万5千～3万5千年前)支笏火山噴出物、元野幌粘土層(約3万年前)、江別層となっています。下野幌層から発見されたゾウの臼歯や海生哺乳類の化石からは、120万年前の石狩低地帯が日本海と太平洋を結ぶ海峡であったことが想定できます。小野幌層は、支笏火山噴出物の下位に見られるほとんど火山灰を含まない粘土層で、元野幌粘土層は支笏火山噴出物の再堆積層であり、火山灰を多く含む粘土層が標高10～30mに分布しています。

5 地区別面積

5-1 地区別面積

平成26年10月末現在 単位＝km²

地 区			面 積	地 区			面 積	地 区			面 積			
総	面	積	187.570	萌	え	ぎ	野 中 央	0.122	緑	ヶ	丘	0.417		
1	条	～ 8 条	0.288	萌	え	ぎ	野 東	0.104	あ	さ	ひ が 丘	0.284		
萩		ヶ	0.101	豊	幌	花	園 町	0.228	新		栄	台	0.675	
緑			0.632	豊	幌	美	咲 町	0.350	元		野	幌	6.793	
王			0.683	豊	幌	は	み ん ぐ 町	0.139	東		野	幌	18.449	
大		川	0.247	篠			津	11.417	西		野	幌	24.600	
一		番	0.289	中			島	3.332	大	麻	宮	町	0.267	
弥		生	0.287	八			幡	8.073	大	麻	園	町	0.295	
高		砂	0.346	美			原	27.072	大	麻	東	町	0.297	
向		ヶ	0.345	角			山	19.339	大	麻	高	町	0.279	
元			0.263	上		江	別	2.585	大	麻	南	町	0.362	
若		草	0.276	江		別	太	15.674	大	麻	南	樹	町	0.085
牧		場	0.362	豊			幌	16.061	大	麻	晴	美	町	0.080
元	江	別 本	0.223	野		幌	町	0.571	大	麻	栄	町	0.255	
元		江	0.748	野	幌	松	並 町	0.379	大	麻	新	町	0.253	
見		晴	0.742	野	幌	末	広 町	0.276	大	麻	沢	町	0.337	
上	江	別 南	0.506	野	幌	住	吉 町	0.280	大	麻	扇	町	0.132	
上	江	別 西	0.361	野	幌	代	々 木 町	0.546	大	麻	西	町	0.220	
上	江	別 西	0.492	野	幌	寿	町	0.369	大	麻	中	町	0.379	
ゆ	め	み 野 東	0.487	野	幌	屯	田 町	0.329	大	麻	北	町	0.318	
ゆ	め	み 野 南	0.295	野	幌	美	幸 町	0.315	大	麻	元	町	0.425	
東		光	0.719	錦			町	0.336	大	麻	桜	木 町	0.202	
朝		日	0.582	幸			町	0.343	大	麻	ひ	か り 町	0.391	
あ	け	ぼ の	0.473	中		央	町	0.283	文	京	台	南 町	0.382	
工		栄	3.288	野		幌	東 町	0.335	文	京	台	東 町	0.463	
対			0.721	野	野	幌	本 町	0.445	文	京	台	緑 町	1.364	
い	ず	み 野	0.224	野	幌	若	葉 町	0.842	文		京	台	0.885	
萌	え	ぎ 野	0.324	東	野	幌	町	0.379	大		麻		3.853	

資料 区画整理指導課

5-2 地目別土地面積

各年1月1日現在 単位＝km²

年 次	総 数	田	畑	宅 地	鉱泉地	池 沼	山 林	牧 場	原 野	雑種地	その他
平成22年	187.57	13.65	67.06	20.80	-	0.06	12.98	0.29	3.39	9.51	59.83
23年	187.57	13.75	66.94	20.84	-	0.06	12.98	0.29	3.37	9.51	59.83
24年	187.57	13.21	67.43	20.88	-	0.06	12.98	0.29	3.35	9.53	59.84
25年	187.57	13.37	67.23	20.94	-	0.06	12.98	0.29	3.31	9.54	59.85
26年	187.57	13.54	67.05	21.00	-	0.06	12.97	0.23	3.32	9.54	59.86

資料 資産税課

6 地域・地区の現況

6-1 市街化区域及び市街化調整区域面積

単位＝ha

区 分	平成11年5月7日	平成12年3月31日	平成16年4月6日	平成19年11月6日	平成22年4月6日
市 街 化 区 域	2,909	2,930	2,930	2,939	2,938
市 街 化 調 整 区 域	15,848	15,827	15,827	15,818	15,819

注) 平成22年4月6日北海道告示第302号による。資料 都市計画課

6-2 用途地域別面積

単位＝ha・%

区 分	面 積	構 成 比	容 積 率	建ぺい率	備 考
総 数	2,938	100.0			
第 一 種 低 層 住 居 専 用 地 域	903	30.7	60	40	
第 一 種 中 高 層 住 居 専 用 地 域	210	7.1	200	60	
第 二 種 中 高 層 住 居 専 用 地 域	467	15.9	200	60	
第 一 種 住 居 地 域	446	15.2	200	60	
第 二 種 住 居 地 域	14	0.5	200	60	
準 住 居 地 域	166	5.7	200	60	
近 隣 商 業 地 域	122	4.1	200	80	但し、容積率300％地区16ha
商 業 地 域	49	1.7	400	80	
準 工 業 地 域	213	7.3	200	60	
工 業 地 域	6	0.2	200	60	
工 業 専 用 地 域	342	11.6	200	60	

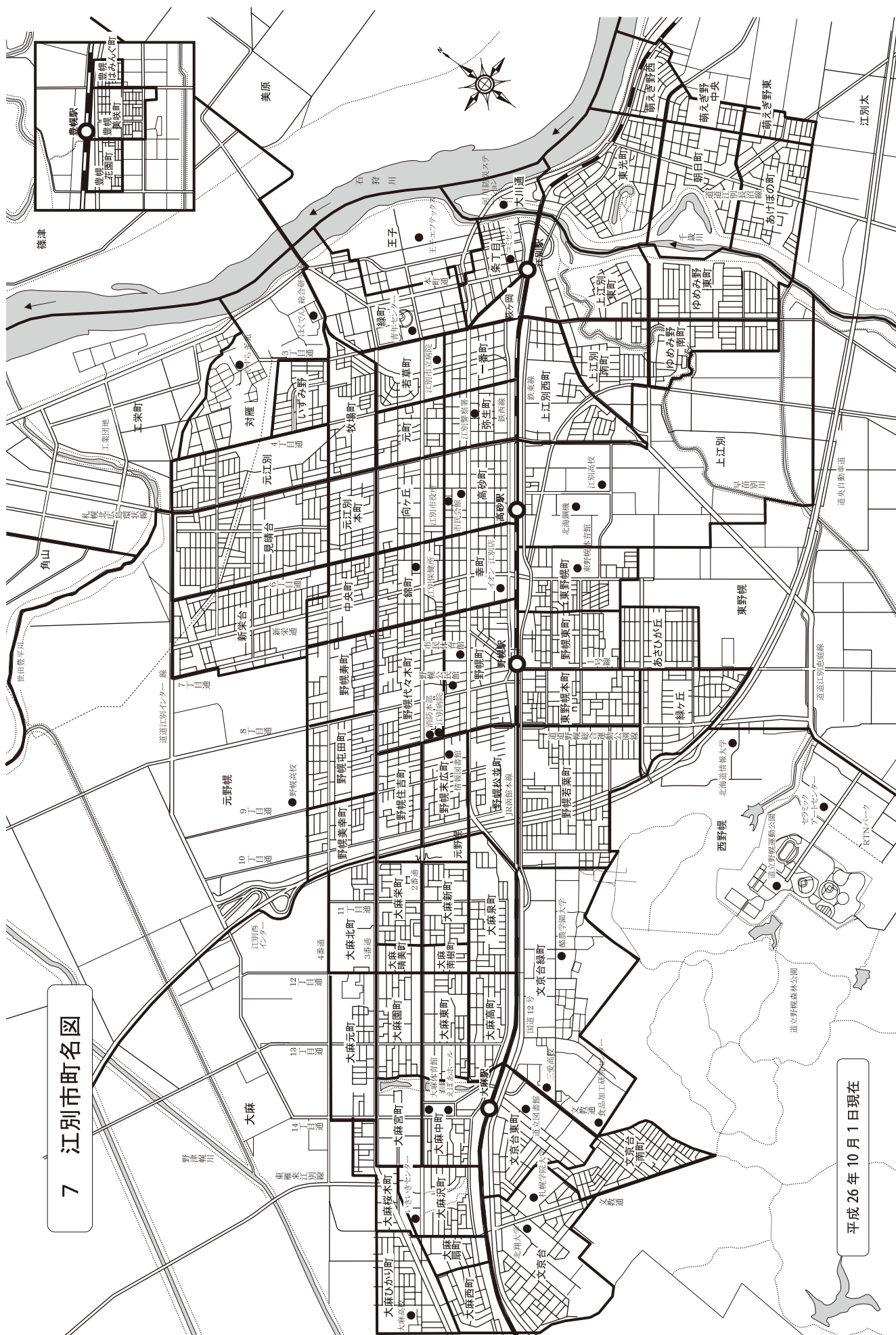
注) 平成25年4月1日江別市告示第57号による。資料 都市計画課

6-3 特別用途地区及びその他地域地区面積

平成26年12月末現在 単位＝ha

区 分	面 積	区 域	江 別 市 告 示 年 月 日
特別用途地区(文教地区)	330.0	文京台及び野幌若葉町の一部	昭和46年 7月28日 第 22 号 決 定 (347.0ha)
準防火地域	171.0	文京台東町、文京台南町、文京台緑町 近隣商業地域、商業地域に同じ	昭和54年12月22日 第 55 号 変 更 (330.0ha) 昭和48年 5月21日 第 13 号 決 定 (74.3ha) 平成25年 4月 1日 第 57 号 変 更 (171.0ha)
特別用途地区(特別工業地区)	28.0	対雁の一部	平成 4年10月16日 第 80 号 決 定 (28.0ha)
地区計画 (いずみ野・元江別地区)	44.0	いずみ野、元江別及び対雁の一部	平成 4年10月16日 第 79 号 決 定 (22.4ha) 平成22年7月27日 第134 号 変 更 (44.0ha)
地区計画(野幌東地区)	23.5	あさひが丘の一部	平成 6年 3月29日 第 15 号 決 定 (23.5ha) 平成23年 6月28日 第126 号 変 更 (23.5ha)
地区計画(東江別地区)	38.4	萌えぎ野西、萌えぎ野中央、 萌えぎ野東	平成 6年10月18日 第 74 号 決 定 (38.4ha) 平成 8年 3月29日 第 34 号 変 更 (38.4ha)
地区計画(上江別南地区)	79.1	上江別東町及び上江別南町の一部、 ゆめみ野東町、ゆめみ野南町	平成 6年10月18日 第 74 号 決 定 (79.1ha) 平成20年 2月29日 第 17 号 変 更 (79.1ha)
地区計画(中央地区)	69.1	新栄台	平成 8年 3月29日 第 33 号 決 定 (69.1ha)
地区計画(豊幌中央東地区)	13.6	豊幌はみんぐ町	平成 8年 3月29日 第 33 号 決 定 (13.6ha)
地区計画(豊幌中央西地区)	16.1	豊幌花園町の一部	平成 8年 3月29日 第 33 号 決 定 (16.1ha)
地区計画(江別太地区)	4.5	あけぼの町の一部	平成11年 5月 7日 第 44 号 決 定 (4.5ha)
地区計画(大麻16丁目地区)	18.1	大麻ひかり町の一部	平成12年 3月31日 第 36 号 決 定 (18.1ha)
地区計画(元江別中央地区)	4.9	元江別の一部	平成12年 3月31日 第 36 号 決 定 (4.9ha)
地区計画(上江別高台地区)	11.5	上江別の一部	平成19年11月 6日 第147 号 決 定 (11.5ha) 平成20年 2月29日 第 17 号 変 更 (11.5ha)

資料 都市計画課



7 江別市町名図

平成 26 年 10 月 1 日現在

8 気 象

北海道は、世界の気候区分(ケッペン)によると本州が「温帯」に属するのに対して、「冷帯(亜寒帯)湿潤気候」に属します。日本では「日本海型気候」で、夏季さわやか、冬季積雪寒冷と四季の変化がはっきりしているのが特徴です。道内の気候の区分は、道南・日本海沿岸・太平洋沿岸・オホーツク海沿岸・内陸の5つのエリアに分けられ、本市は日本海沿岸地域に属し、夏に晴天が多く、日本海を流れる「対馬暖流」の影響で気温も高めです。一方、冬には北西の季節風の影響で風が強く、降雪量也多めです。

江別市の平均気温は過去10年間(平成16年～25年)でみると7.3℃。最高気温は昭和51年、平成18年、19年に記録した34.5℃で、最低気温は昭和52年に－27.7℃を記録しています。

降水量は、過去10年間(平成16年～25年)の平均では952mmで7月から9月にかけて雨量が多い、過去の主な1日の総雨量は昭和54年119mm、昭和56年180mm、昭和61年119mm、昭和62年149mm、平成13年112mmがそれぞれ記録されています。

積雪は、旭川などの内陸部や日本海側北部、日本海側沿岸部ほどではないが全道的には多い方といえます。降雪は、平年で11月下旬から翌年4月上旬まであります。年間総降雪量は過去10年間(平成16年～25年)の平均で608cm、昭和60年度には867cmを記録しています。また最深積雪量は過去10年間の平均で128cmですが、平成25年2月21日には167cmを記録しています。降雪量、積雪量の推移では、ここ数年は平年より多いといえます。

風は、日本海側石狩湾と太平洋側苫小牧の石狩平野を縦断するような風が多く、途中で風をさえぎる山地がないことから四季を通して風の通り道となっています。冬は日本海側から北西の風が、夏は太平洋側から南東の風が吹きます。南東の風は1年を通して吹いており、とりわけ江別付近の風が強いといわれています。とくに南東の風は4月から5月頃にかけて吹く強風が特徴的です。北西の風は、10月から勢力を増し、5月頃まで続きます。夏期のみ、微弱な風となります。冬の強風は、周辺にさえぎるものがないため地吹雪や暴風雪を起こすこともあります。

9 気象概況

年・月次	気 温 (℃)					日照時間(h)	降 水 量 (mm)					降雪量(cm)	平均風速(m/s)	最多風向
	平均	日最高	月/日	日最低	月/日		総量	日最大	月/日	1時間最大	月/日			
平成21年	7.5	31.6	8/11	－20.2	1/9	1,580.7	880.0	53.0	7/19	14.0	10/2*	403	3.5	南南東)
22年	8.0	31.8	8/7	－22.7	2/4	1,570.5	1,098.5	43.0	8/24	24.0	8/8	450	3.4	南南東)
23年	7.3	32.9	8/6	－22.0	1/12	1,697.9	1,232.0	40.0	9/3	23.5	8/26	763	3.3	南南東)
24年	7.3	31.8	7/28	－24.8	1/26	1,748.8	976.0	86.0	9/9	25.0	8/16	629	3.4	南南東
25年	7.2	31.1	7/7	－22.7	1/9	1,586.4	1,119.5	43.5	9/16	23.5	8/24	703	3.3	南南東
平成25年 の月別値														
1月	－8.8	2.2	1/25	－22.7	1/9	114.2	61.0	18.5	1/18	3.0	1/19	188	2.6	北北東
2月	－6.8	5.0	2/28	－21.7	2/7	113.3	71.5	25.5	2/21	6.0	2/21	187	3.3)	南南東
3月	－1.6	6.1	3/28	－13.6	3/4	144.4	38.5	6.0	3/10	1.5	3/10	81	4.2	南南東
4月	4.7	15.1	4/23	－5.9	4/1	109.4	55.5	25.0	4/7	3.5	4/7	0	3.9	南南東
5月	9.6	24.4	5/31	0.6	5/7	151.2	60.5	14.5	5/11	3.0	5/6	0	4.5	南南東
6月	15.9	28.6	6/10	7.2	6/7	197.2	60.5	32.5	6/15	12.5	6/15	0	3.9	南南東
7月	20.8	31.1	7/7	12.3	7/20	174.5	56.0	30.0	7/27	14.0	7/27	0	3.9	南南東
8月	21.7	31.0	8/19	11.6	8/29	131.4	211.0	35.5	8/18	23.5	8/24	0	3.2	南南東
9月	17.2	28.1	9/14	2.6	9/27	143.6	184.0	43.5	9/16	14.0	9/5	0	2.7	南南東
10月	11.3	23.4	10/2	－1.3	10/19	118.7	102.0	27.5	10/25	6.5	10/11	0	2.5	南南東
11月	4.2	15.5	11/7	－6.9	11/28	94.4	129.5	39.0	11/8	12.0	11/8	55	2.7	南南東
12月	－1.5	8.3	12/5	－15.1	12/25	94.1	89.5	22.0	12/22	4.5	12/2	192	2.7	南南東

資料 札幌管区气象台、土木事務所

注1) 観測地点:江別地域気象観測所＝アメダス(江別太551番地の3地先 江別太農村公園)

注2) 降雪量はアメダスで観測していないため、江別市土木事務所(元江別本町21番地)のデータを記す

注3) 「数値*」は極値の起日重複(期間内に起日が2日以上ある場合)を示す、起日が新しい方を記す

注4) 「数値)」は準正常値(対象となる資料の一部が欠けているが、許容する資料数を満たす値)を示す